ます。そのお蔭で大気圏を脱出す のエネルギーも其の一つだと思い

受けています。世界的な開発の一

つとして、音よりも早く進むため

異った使命があります。この使命 生命の異りによって、それぞれが

を充分に果たすことによって個人

る発展です、そのおん恵を私達は 化文明の躍進は世界的にまれに見

民の集団となり得るのです。この が家庭であり、又社会、国家の国 に於ても特に第二次大戦後の機械一ことです。この異った生命の集り

当にすばらしいものです。又日本

君等が理解しているように、ルネ

(1)

為の躍進、発展が生れると思いま

を知って頂きたいのです。この自

がいの無い生命の持主であること

れて来るのです。私達は互にかけ

は完成され、家庭や社会につなが

星

印刷㈱吉川印刷工業所

者の意見を

ずねてみた。 長、生徒部長、 進歩はあったが、やはり「内容のマンネリ化」は否定することはできないだろう。新聞局では、 今年度も十月下旬に文化祭が行なわれる。しかしここ二、三年の文化祭を見てみるといくらかの 文化祭企画委員会の今年の文化祭に臨む態度と生徒諸君に対する要望をあわせてた 校

洛星の文化祭に期待して 長 田 次

そして躍進は洛星の生徒として、 の機会に改ためて、喜びや感激の 成功を見ることが出来ました。こ が各担当教師と共に努力されその 進」をデーマにして、全校生諸君 して精神的躍進を示して下さい。 昨年の文化祭は 「絶え ざる躍 一等が躍進や発展の意味を正しく理 其の他の分野に於て他人の幸福のばなりません、 の発展、情報化文化の発展の為に一るだけ、 に幸福をもたらず顕進は、先ず人 です。他人の幸福の為とか、人類 解して、人類の問題を少しでも解 で安心しているでしょうか、人類

るものでなければなりません。諸一す。その様に私達、人間、各人の一です。私は文化祭中、常に緊張で一となったが、スタートに際して話 い、唯一の作品です。その為に多 |ばなりません。日本には世界的芸|の学校の独自性を表すべきです。 生命は唯一の芸術であり、世界に一ありなさいとは申しません、大い ます。其れは世界に二つとして無 | 生命は何んであるかを知らなけれ うである様に、他人の生命も同じ 二人としてない人格です。私がそ一に楽しい日々であって欲しいので くの監視に見守られているのでしせん、 間の生命が何んであるか、自分の 術家によって作品が多く展示され 育、体育の成長でなければなりま 又高校生として毎年が知宵、徳 むずかしいでしょうが、やはり其 洛星の諸君等は、中学生として、 勿論共同で行うことは物理的に その成長を示す場が文化祭 部長の前田はこんなことを思って いるんだと考えてもらえばよい。

を与えられたことと思うが、

勿論

ません。躍進は人々に喜びを与え うに、顕進は単なる発展ではあり 私しなりの阻進の意味を書かせて

常々私が諸君等に申しているよ

なものであって下さい。その為に 他に見ることの出来ないユニイク

徳であり又お客様達に考える事を一て種目も多くあるのだから、 しかし、見ること、聞くこと道 だが、洛星の場合は生徒数に対し 先ず文化祭への「参加の仕方」 その



ら指導があればその指導の枠内で 発表の良否なんかは、

毎年思ったものである。

だろう。もう合唱コンクールなん

ります

て無い方が罪がなくて良いのにと

対する不安、そして数えることの一や演劇は新講堂の広いステージと一ように、 でしたら京都の学校の幾つかで共 星の生徒諸君が他の学校と同じ様 | 調堂の狭いステージで行った合唱 | す。洛星の生徒らしさを忘れない | ます。今年は | 応企画委員会にお 化祭であり特に洛星の文化祭であ 展示会では団体発表や個人発表、 るのです、一例を取りますと、旧 同で行っても良いのです。 時のトピクス、色々有りますが文 も必要です、又経験も必要です。 は自然に異ります。それには工夫 新しくそれぞれの分野が展開され 先張達のとうとい経験を通じて、 常に道徳的でなけれ と申すのは洛 が来年の文化祭の始まりでありま す。その為に企画し、実施する為 に研究され、十月の文化祭はUP ONWORDであって欲しいので 努力と反省を 全校生の 努力を願いま 生徒部長

田

ない。タレント性のある或は積極 れもこれもと参加するのは感心し 機会は多い。と云っても一人であ いか。

さて文化祭還からじと思わせる頃。にしてみれば、級台唱は誰もが必 |題を二つ許りに絞って書いて見よ|なり展示なりに絞って専念してほ 生徒部を代表してではなく、生徒一てはスターを造るべきではなく、 生徒部長だからとて投稿の機会一ろうし、文化祭全体としても盛上 て本番終了後の後始末に至る間、 自分で工夫し、生徒達で苦労 一
ず参加するものとして、他は演劇 均等に発表の機会を頒ち合ってほ て一つの発表を完成させ」てほし グループ仲間の完全な協力によっ しいものだ。「準備段階から始め ఫ 調子を合わせて喜んでいるわけに ことを思えば、 なんて残酷なこと

の良心に問うてみて、努力が足りという思い出の強い人ほど文化祭 きもあろう。しかし、その時自分|け頑張ったか、どれ程苦心したか ろう。或は監評しか得られないと 人から見れば注文はつけられるだ いう基本姿勢が大切でないかと思 成程文化祭の一時としては確か

中高合同文化祭企画委員会

生徒一人一人の自覚に

算は、中高合わせると8万円弱と|さんにこの見解の単なる支持を期 前期の予算が承認され、記念祭予 高校では去る5月22日、中学で/くものではないかもしれません 洛星史上最大予算となりま一待するものではありません。それ か

います。(これは決して満足のゆ」う声を聞きますが、(決して私達」んか。 いて見解という形で打ち出され ど考えられないままに終わってい せて頂きますが、いくつかお願い したい事をあげておきます。例年 しておりますので、ここでは省か でにプリントで皆さんにお知らせ一マンネリ化の傾向にある、とはよ "文化祭の意義"というものは殆 祭を行なってきました。その細か い内容や決定事項については、す 会議にて、文化祭の様々な面の考しる」といった、主体の無い態度で 30日現在までの10数回にわたる 中高合同文化祭企画 委員 会で「判・意見をお待ちしています。こ 」までもなく、文化祭が生徒会活動 去る6月1日の発足以来、6 という事です。文化祭は毎年毎年 文化祭に臨む事はやめて頂きたい よく文化祭の批判がなされる時、 する問題である事は疑えません。 は皆さん一人一人の主体性に帰着 否かはあえて問いませんが、これ こで一つお願いしておきたいの く言われる事です。それが真実か 一今年の執行部は云々」とか、 しとい

学園に於ける躍進は色々あると一うつたえて下さい。今年の文化祭

としては何一つ悔いることが無い かったか、或はサポリはしなかっ たかと反省してみることだ。自分

敏

男

たらしたで選外になった隣の級の なく辛い思いをするし、又入賞し の心情を思うと、本当にやりきれ あれだけ熱心にやっていた指揮者 実に胸のいたむ瞬間でもあった。 あの閉会式における発表の一瞬は ある時期には、生徒遣と同じく、 あって残り三分の二は選外であ 級の内、入賞するのは三、四級で ことである。中高別としても十二 次に取り上げたいのは級合唱の かつて級担任をしていた時の ートリーダーを始め級の生徒 自分の級の生徒に

の有無に関係なく、あの時どれだ 十年経っても嬉しい嬉しいと言い にその通りであるが、果して五年

不成功は、企画委員会以上に、皆 はありませんが)文化祭の成功、 さん一人一人の自覚にかかってい は責任を逃れようとしているので るという事を改めて考えて頂きた

えております。これは改めて言う を得ること、というのを第一に考 て、様々な日常の学校生活で得ら れない体験を通じての連帯性など いのです。 次に、私達は文化祭の意義とし

どころか、皆さんの活ばつな批 企画委員会といたしましては皆 「文化祭があるから参加す」す。しかし、この自明の事とも思 を作りあげていこうではありませ 一である以上当然の事と思われま 集として盛大かつ有意義な文化祭 識して頂きたいということです。 う一つのお願いは、その意義を皆 ているのではないでしょうか。中 確認されないままに過ごされてき われる意識が、案外皆さんに十分 事もありますので、我々の力の結 さんに自分なりにでももう一度認 高合同文化祭企画委員会からのも

。 はしなかったか、手を抜きはしな を懐しく思い起ずに違い無いとい

感を残すならばそれで良いではな ほど頑張ってやったんだと云う実 き、楽しかったことは浮んでこな 出される。而も懐しく思い起されを合唱コックールはあっても良しい。 いで、苦しかったことのみが思い 自分の半生を振り返って見たと

うことが比処でも云えるのではな

あってもマイナ が等しく、何の しだわりも無く、

、中高併設、一学を熟に替えたり、不幸にも浪人し 作ることです。粒一から、入試程度のために、クラブ 郞 圧倒される思いがするのです。だ をしてきたのかと、今更ながら、 たレベルとの差に、一体今まで何 今私は、大学と高校で要求され

大学に合格して知識を独占するだ |経験をして、将来どの進路をとる 一活用で済ませ、できるだけ様々な にコピー屋に走る人については保 のがよいか考えて下さい。受験勉 高二以下の人は、勉強は授業の

ためにも高二の時 | 育祭文化祭では活躍して下さい。 中で養なわれると よう祈ります。 せめてLHRや体 以上、冒頭に記したような風潮

説

聞の役割とは一体 がない。では学校ある、と、どこかの新聞に書い 新聞のように速報 に反映し、生徒を啓蒙する所に 学校新聞には一般 てあったのを見てハタと気がつ の役割は生徒の意見を学校全体

するために 立ている。 徒会の一機関 は学校の手先 聞局とは何者だろうか?新聞局 何であろうか その独立を明確に に伝えてくれる人、ひとりでも でもない。全く独 ではない。また生 ?その前に、新 ではおそらく無理であろう。 反映せねばならない。が、現状 いた。学校新聞は生徒の意見を ひとりでも自分の意見を新聞 真剣に新聞

教育協力会からも一銭のお金も してくれる人がでてきてくれれ 徒会からも 新聞局は生 洛星新聞を考えるを読んで費 同や批判を

と何かたりなかった。学校新聞良いものにはならない。 した。が、以前の新聞に比べるくしょうとしない限り、決して として生徒から集めているお金しょう。 もらっていない。すべて新聞代ば、もっと新聞は改善されるで して今の高二が中三の時に復刊 うに、新聞も読者一人一人がよ でその経費をまかなっている。 してしまったことがあった。そ 学校そのものがよくならないよ 新聞局の活動が全く停止 くしょうという気がなければ、 ひとりひとりが学校をよりよ

与してゆくに違 かの潜在力として個人の成長に答一文化祭、自分達のクラブ活動であ るのである。而もその時の試練が一祭も、長期にわたるクラブ活動も にのせ得る資格を持つことが出来 | 愛するとして、要は短期間の文化 労して文化祭に取り組んだ者のみ」ならないと思う。 何日になっても笑い話として話題。なことが云えるのだが、今回は割 いつかは自分にプラスすることは一同じこと、先生のためでも無けれ るとはよく聞くことである。 正に受賞の有無には拘らず、苦一統として永久に継がれて行かねば スとはならない何。ば父兄のためでもない。自分達の いない。だからと一るから、どうか心して参加してほ 一く、更に洛星の文化祭に於ける伝 実はクラブ活動についても同様

本当の

工

上

敏

と、ある運動部の高二の生徒が顧のそろった生徒 育を全く排すべきだとの意見もあ たから余計にでしょうが、受験数 よりそんな風潮が大きくなってき。当のエリート育成のための条件を一般は高二の冬以降で十分。(試験前 をやめたいと言っていました。高一クを背景とする開校精神などを考してん。 間の先生に、塾に行くからクラブ|年の人数が少ないこと、カトリッ|たりした人を見るといたたまれま た驚きは少なからぬものでした。 ラブ離れの現実をまのあたりにし 一あたりの受験のためと称するク いわゆる「いい」生徒を集めて「れるものでなく、クラブや生徒」技術を知りたいと思うなら旺文社 そんなことがある反面、 先日宗教 部室にいった時のこ に役立てる人を という 具えることができるはずです。 けのいわゆるエリートでなく、本 ともって欲しい えると、(他の中高との交流をもっ 本当のエリー トのための勉学以|証しませんが) また高三の人には とは思いますが

むしろ洛星に望まれるのは、素晴 者を減らす必要はないでしょう。 けでなく社会全体にとって損失で一思います。その 条件を与えないことは、その人だ一々なつきあいの いるのに、その才能を発揮させる一会・HR活動などでの他人との様一のラ講で十分)一発で合格される ようなことはして欲しくない。せ一が母校に広がることに耐えられず 点で受験のため 外の要素は、無論先生から教えら一授業のフル活用を期し(特に受験 にクラブを捨てる

す。
- (東京都大田 がて両方をやる気機をもつべきで 記しました。 (東京都大田区山王1の3の11)

行先 四九州

九月三日

修

旅

行

研

今年度の研修旅行についてご紹介します

グループ別研修

〇期日 八八五日~七日 〇行先 吉野方面

品 級 級 日 第 吉野=大和上市=下市口=洞川 京都=木津=奈良=下市口=吉野 洞川=下市口=大和八木=京部

長崎―長崎市内見学―(急)―博多―小倉(フェリー) 京都一ひかり一博多=唐津=伊万里=弓張岳

五(五) 第 日 弓張岳=四海槌=長崎市内 …コース別研修… (A平戸B有田C黒島)

者数を発表します。今年度は初の新課程 ここに本年度の本校卒業生の大学合格

計

2

25 17

3

6

2

2

14

1

3

1

1

3

1

1

2

7

18

13 (8)

3

6

1 1

21

14 1 14 1

3 1 3 1

6

2

2

9 (3)

4 (3) 8 6

3

1 1

1

1 3 1

1

(3)

年度の成績の一層の躍進を期待したいも 学共通一次テストが実施されようとして ぐ国立Ⅰ期・Ⅱ期の期別廃止や、 沙汰されました。これにつづき、 本音だと思います。 気にする必要がないというのが先生方の 校の勉強を大切にしていれば、そんな事 入試合格の成績を紹介するとともに、来 入試ということもあり色々と世間でとり います。が、マイペースをくずさず、 とに角、 国立大 もうす

> 大 学 名

京 I

神 商 大

京

慶

早

Ŀ

中

法

同 志 社

文

関

関

甲

近

大 阪 医

関 1/4 医

自 治 医

麻 布 邁

成

兵

明 治

日

H

東 理

슴

コロンビア大

府

稲

灰

応

田

智

央

政

館

学

大

南

大

城

医

薬

畜

大

大

现

1 1

3

3

4

7

4

13

5

4 (3)

初の新課程入試

計

8

1

3 3

2 2

3

1

5 (5)

5

7 1

1 (23)

6 6

8

1

1

1

2

1

1 1

2

1

1

(13)

3

1

(5)

1

(8)

1

1

1

2

1

1

1

1 12

2

1

3 3

1 5 (3)

3

9 29

2

1

1

1

1 1 1

3 2

1

1

9

5 (3)

2 3 2 2

2

1 1 1 1

2

考えてみよう。

2

年も更に躍進の合格者数

(注・表中、数字は合格者 延人 数を示 Ļ 〇内は合格者中の進学者を示す。)

大 学 名

北

筑

東

名

滋

阪

神

鳥

広 胎

徳 島 大

小 樽

東 医 幽

横

信 州 大

静 岡 大

名 I 大

岐 阜 大

滋 賀 大

結末はその個人の死であり、その

(絶対に生き」いにならないとはっきりしない。

(以上のことは国家社会ぐら

HIA 原井宏明。えだろうなあー。(わかって下さ

態を指すとしょう。すると最終的 が、自分の最終的結末のときの状 大

大

大

大

医

橋 大

賀

大(文)

(法)

(経)

(理)

(医)

(薬)

(I)

(農)

大

大

大

大

商

取

玉 大

教 大 のです。

現

6

1 1

8 8

3

2 3

1

5 (3)

2 3

4

5

1 1

20 8

> 4 1 2

5 (3) 6 (5) 11 10

1 1

1

目的を達成するために役立つものだろう。

3 3

6

3

1

1

(5)

第92号

田一家 第日 北海道 京都一(特)自鳥 函館—(急) 二セコ号—札幌—(急) 青森~ (船出)

グループ別研修 糖平---然別湖---狩勝峠--赤平---滝川---札幌 網走—美幌峠—川陽—摩周湖—阿寒湖—糖花

柳柳-京都 (新日本海フェリー船中泊)

古切手を集めよう 宗研 「ボランティア」

をより豊かにしていこうという 自分と自分の生活をしている社会 人の精神薄翳 (ちえおくれ) 児・1ックに眠っている古切手をあつめ「よってどの事実と対応するかが異1守られる。) そういったルールの 「連帯感」によって行なわれる自 記上で、雌でも一人では生きら 現在、京都市内に古四十六万千 ボランティア活動は「あわれ」者、一人ぐらしのお年寄、身体節 その中に三万五千四百四十二 人の人が住んでいます。そし す。あなたのひき出しやレターラ なたの温い心をほんの少しわけて の労力、あなたの時間、そしてあ る人達が多くおられます。あなた一者に認識させなければならない。 間、あたたかい心を必要としてい のまわりに、あなたの労力、 字をどう見ますか?今、あなた一のこの文章において言語は、読者 害者がいますが、あなたはこの数 今、高校宗研ポランティアグル そのためには、この文章において に私の意識を伝達するためのみの ものである。正確に私の意識を読 は常に唯ひとつ存在する。

ープは古切手集めを行なっていましない。そして事実と対応しない って音の響びきを楽んでいるので 言葉は事実概念の象徴以上であっ てはならない。詩のように韻を作

言葉は一切不用だ。そして、人ににされたくないという欲求から、 であって社会のルールも、 個人の欲求とその個人の属する社 (欲求が基礎 のけ者

285

ばならない。つまり、実際行動とおいて。)そして個人は恐慌状態 いというわけではない。社会と全一も信んじていれば、 を守る必要がある。というより、 してルールを守らなければならな る、ということが認められなけれ 社会に、自分はルールを守ってい い。しかし、社会の一成員として その社会のルー たときた。 死ではなく、特にガンによる死に

83 174 90

ういった既成価値基準は根強よく く関連のない点においてルールを想を信じることができる。このあ 測透しているから、 もっとも、そうはいっても、こ になる。このとき、 きた。 たりは宗数の有用性とでもいうべ 逆に、社会にとっては個人の存うより、本質 霊魂の不滅で ったが、ある現象の記述があるとす。 ここで終わりに

人間の価値観についてもう少し 自由な行動は。在は重要でない。君主がいる社会(く、あると信んじている状態でし)始する……この苦しみわかんねえ な変化がおきるだろうが社会自体では社会における目標はなにか。▼おくればせながら……二十五期 (言わば多数の民衆)は存続す かなり 無階級社会の か、それは存在しないと考える。一だろうなあー

る。さて、その目的だ。その目的「す影響と法律上の取扱いが異な」る、考えたい が為すべきものということにな。現象として同一だが周囲の人に及もないと私の まずある個人がいてある目的を一る。今なら、たとえ、三木氏がな そのくなっても自民の一部が喜ぶだけ つまり、各個人は可換性があ (失踪と死はその時点の ている。だい 処するか考える必要がある。 である。私はこのあたりにどう対る人と投稿してくれる人どんどん 思想自身が答えてい。ないようにしましょう。

両先生かポランティアグループの 神父さん、又は奥本・田中(成) して高校生に各クラス備えつけの その古切手のまわりを5ミリを残 高校生のところへもってきて下さ この切手は、ネパールのBC ます。 いように、次のことも響いておき たりするのもボランティア活動の 体の不自由な人達に座席をゆずっ」たが半歩前に立ち、あなたのひじることがない)とすると、どんなカリスマ的指 一つです。もし、隙害者にあった あなたの行為が無駄にならな 「車いす」の人に出会った。くことがボランティア活動の始まある一定時間、ある状態になるこ。決は私はまだ見いだしていない。 のところをもってもらい、案内し目的をつくろうとも、目的が達成かない場合が多く、死ねば、他よ ることを生活習慣としてやってゆ一環にすぎない。だから、目的は一の価値が異なる。このあたりの解 あなたのまわりで手じかに出来

は、いつか失われ、

死への過程の

私個人と社会にとって、私自身

されても目的とされた自分の状態りずっと大きな変化がおきる)

Gや、色々なボランティア活動へ の運動の力となってゆきます。 ょっと声をかけて助けてあげて下 目の不自由な人にはあなた

投

また、電車やパスの中で老人や一が先に声をかけてください。

あな!何もできない。 い。だが一人がやらないとも、やはり種としての終焉があるい。」ということである。もちろ 一人では何もできなるにしても同様である。

稿 所 感

中で比較的普遍なものが善悪といっで死んでしまえば、

つ価値基準だ。この価値基準のあ

無意味だ。なにせ、死んだのな目的もあって

ある人にとって、その人が死ん。信している人はいる。私にとって

「生きる

目的がある。」と確

その目的というのがあるな一読んでいると"And thou too,

的というのがあるな。学校の新聞があった。その新聞を しかるべきと考え、「来女子校から送られてきた、その

故かということになった。その新聞の編集後記には を実現しなければな Brutus?"と言ってしまいたく

「先生にはおこられ生徒には足げ

展開してきた思考の一部を紹介しないかざり使えない。つまり、言 まず次のことを前提したい。 これから、今まで私の頭の中で一なる言葉は、対応をはっきりさせ ない。同様に、論も合理的に、納 紫を辞書的意味のみに使うか、は 得できるように展開 っきり定義して使わなければなら での歴史的過程と社会の状況によ人が自分の死後の事実を判断するら、 って規定される。(社会状況は、 る時点における姿は、その時点ま」ら、その人は存在しないし、その|る。生きる目

ことがない。例えば死後の名声とら、その目的

が、全く関知するわけがない。そなれば、ずっとこの問いがくり返にされ」だとか「私共はやる気の

的故にということに

されることに

なる。

ところが、

心はおそらく死には

とかなるという責任のなざを告発

私の気質的なもの

死後にいくらほめられるようる。又別の目

たいと思う。

らない。数学における表記を想し 個人の行動を規定するのは、その 以上のことをできるだけ確実に 一般に、ある個人がいて、その さて本論を始めよう。 しなければな その歴史的過程と、自然条件によかいうのは無意味だ、ある人がいらないのは何 って規定される。)だから善悪とて、 級間における相違が大きくなって る。更に世代間における相違、階 間的には変化が大きくなってい り、鵞鳥化してきている。逆に時 っともこれは通信情報の発達によ はない。地域的特殊性も持つ。も いう価値基準は、時間的に不変で

のだ。ある個人にとって自分が生として、特に行動面における保守

言ているということが、他の全て

性があるからだ。それに、死ぬ目った。口の悪い某先生からは「体

員全員の言いたいことが書いてあ にかく今、まさに我々洛星新聞局 してきたつもりです」だとか、と

制べったりだ」といわれ、クラス

メートからは「くだらんもん作り

それならばなぜ生きているか。

全事象はそれまでの過程より導かれ、原稿の遅れにいらいらし、や

偶然により決定されっとできたこの新聞もその日のう

るというのもその事」ちに便所のごみ箱で見うけられる

生きるという事象ようになっていると思う。批判は

とが、非常にその人にとって快いしないだろう

るだろうなど、生前に空想するこ れよりも、自分の死後は名声が

浸透している。従ってその影響はい。 (生きるということはその人) る。生きてい 消すことができない。しかし、善 定され、各個人に意識され難い程 てある行動を為すべきか否かが規が意識されず、 思基準は事象の本質と全く関わら 善悪に従って行動する必要はな」こと。) 般にこうした当思基準によっ 会にとっては、社会との交渉があ自身には目的もなく、本質としてだれにでもできる。がそんな君ら 個人にとっては意識を持つこと社 の事象の存在の必要条件なのだ。的だってありはしない。 ような幻想をいだいている人が多れる必然と、 とは意識されない、死というものという問いが当然出て来る。私はやがって」と口者たなくののしら り意識の存在が認められるという しかしたいていの場合、右のこ 永遠に生きるかの

象のひとつで、

の間に死ぬということが自覚され いは、死に直面し、自分がわずか かような幻想がうちくだかれる (だから事故による即 **善悪と関わりなく、ひとつの事実**に我々の気持ちがわかるかなあ? 連しない。 ったが、本質 であると考える。 の事実、各個 区上、 時

いいたりないこともあったが、星新聞に投稿して下さい。紙面は にする。明記しなかいつも生徒 諸君に 開かれていま 人の見解の相違と関一校がおもしろくない……と思って 一人が認識する以前

と思っている人はそのことを、学 々本質という話を使
▼くだらんもん作りやがって・ わかんねえだろうなあー いる人はそのことをどんどんと洛

事はまだ終りません。先生方に配

永遠の生の幻き、いつ、どこで(時空座標)が▼新聞が完成しても我々局員の仕 私自身、結局、自分の納得できり、各クラスに配り、投稿してく

りとしてあるにすぎない、私の思してとうございます。 る価値を見いだしていない、といださった先輩や、他校の新聞部へ パラドックスを一杯もっ┃▼明日から夏休み。みなさん、規 から考えているだけ、▼最後に一言、局員になってくれ 実現がうすらばんや 生ご入学及び洛星二十五周年おめ たい、思考する目的|則正しく、生活のリズムをくずさ としての価値観はな野送し、また次号へ向い取材を開 おこしやす。この気持ちわかんね

この気持ち わかんねえ

得者はとり換えがき

~編集後記に

だろうなァー

人類にう。

一生きる

目的というのはな 私の思考を紹介しょ

もう一つ、

代えて~